



# NICHIYOSHI ニイミ

2008年秋  
〒710-0833  
倉敷市西中新田548  
TEL 086-430-2355  
FAX 086-430-2266  
柚木みちよし・金光学園  
同窓生による後援会

## この道よし 天まで上れ



浅口市長 田主 智彦 (高九回)

平成十七年九月十一日の衆議院議員選挙は、小泉首相の「郵政民営化一本勝負」で自民党の圧勝に終わりました。それも絶対安定多数の二六九を超える二九六議席を獲得するという歴史的勝利でした。

そのワンサイドの戦いの中で、保守王国岡山に大異変が起きたのです。民主党が史上初めて小選挙区で議席を獲得し、それも二区の津村啓介氏三十四歳と四区の新人で弱冠三十三歳の柚木道義氏のダブル勝利でした。

柚木さんを候補者にした江田五月先生達の慧眼に敬意を表したいと思います。

さて、勝敗は兵家事期せずです。大事をなすには強運が要りま

す。柚木さん

えて強運も味方したと思いま

す。一つは、勝負である選挙が

相対的なものであることです。

柚木さんがぐんぐん上昇気流に

乗り、片や相手は大きなダメージ

を受けていました。そして、

金光学園の合言葉「人を大切に、

自分を大切に、物を大切に」す

なわち、「人を大切に」利他の

行為が強運を引き寄せるので

す。「自分を大切に」自立自助

自ら運命を切り開く気迫気概努

力に神様は味方するのです。

要なカバンにお金、カンバンII  
知名度、ジバンII組織、何一つ  
ない徒手空拳で激戦を制しまし  
た。このたびの勝利を、そして  
十万余の投票者を、そして金光

学園関係者の大きな期待をいつ  
までもどこまでも忘れず、奮迅  
の活躍をされますよう心からお  
祈り致します。

## 母校の心を大切に！ 大いなる活躍を！



金光学園中学校副校長

金光 道晴 (高二三回)

柚木道義君の議員としての魅力はどこから来るのでしょうか。彼の魅力は何といってもその人間性にあると思います。私

木君の活躍を同窓生の一人として大変喜び、大いに期待もしています。

が持っている一般的な政治家のイメージと、衆議院議員柚木道義君の人間性とはかなりかけ離れていきます。

母校金光学園ではこれまで「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」という言葉を生徒・教職員・保護者・同窓生の合言葉として大切にしておりましたが、まさにこれからの政治が実現していかねばならない諸問題の解決の鍵はこの学園精神にあると思います。

彼の人間性を敬愛することは表現すれば、「さわやかさ」・「若さ」・「誠実さ」・「真面目さ」・「責任感」・「正義感」・「思いやり心」などでありま

この母校の心を大切に、間違いないく近いうちに行われる総選挙でも、「さわやかさ」・「若さ」・「誠実さ」・「真面目さ」・「責任感」・「正義感」・「思いやり心」で頑張っていただきたいと思

す。今この3年間の衆議院議員生活でも実証されていることでもあります。そんな柚

木君の活躍を同窓生の一人として大変喜び、大いに期待もしています。

木君の活躍を同窓生の一人として大変喜び、大いに期待もしています。



# 同窓生の輪

金光学園はつまつ同窓会有志の皆さまより、多くの投稿をいただきました。ありがとうございます。皆さまの近況報告の場としてもご利用いただければ幸いです。

## 一九六〇年の幻想

小野 磨 (恩師)

その時、ひとつの時代が確かに終わると全身で感じていた。国会を幾重にも取り巻いた何干・何万という若者たちは、自分たちの力で新しい時代をつくる感激を信じ、おののいていた。しかし、何一つ変わることもなく、むなしさと犠牲だけを残して時間は過ぎていった。

一九六〇年(昭和三十五年)、日米安全保障条約に対する反対闘争(安保闘争)は大変な盛り上がりを見せていた。ノンポリの田舎出の学生をもデモに駆り立てた。

安保闘争は大学の改革をはじめもろもろの要求に拡大し、若者・学生を中心に、デモ隊は日を追うほどに数を増やし、都市はその機能を失うほどであった。そのような中の六月一日のことだ。デモに加わっていた権美智子さんが頭を割られて死亡し

た。翌日の追悼集会に参加した者たちに、昨日までのあのキラキラした眼はもはや見られなかった。

「改革・変革」は粘り強く、時間をかけてのみ可能であることに若者たちが気づくのはずっと後のことであった。もしかしたら私は今、一つの時代が確かに終わるといふ二度目のおののきを感じているのかもしれない。

## 夢に向かって

脇本 幸典 (高三回)

金光学園より送られてくる「やつなみ」は、学園内外の情報誌として懐かしく読ませていただいております。至近の08年7月号編集後記から勇気を得たので紹介します。『あきらめなければ夢は叶う』、宇宙飛行士と男子バレーボールオリンピック出場監督のことばとして、生徒たちに夢を追って努力を続けて欲しいと結ばれています。



の頃です。柚木みちよし議員同様に支援よろしく願います。

## 進め柚木道義君

西井 渉 (高二九回)

彼との出会いは最初の選挙の時「今度衆議院選挙に立候補する予定の柚木道義です、よろしくお願います。」と少しやせた、しかし眼力のある青年が我家を訪ねて来たときからだと思えます。

選挙のことはあまり興味のない私でしたが、金光学園の後輩であると聞き打ち解け、そして話を聞いていくにつれてこれは是非応援しないと、という気になりました。

そして二度目の選挙、小選挙区でみごと当選、テレビの前で万歳をしたのが昨日のことのようです。その後の国会での活躍は皆さんご存知のことと思えます。そしてここで申し上げたい

のは、彼の人柄です。議員になる前も、なった後もまったく変わりません。決して驕らず謙虚で誠実、小さな子供からお年寄りまで同じ目の高さで話をしています。そして心の中に、いや全身に確かなものを持って国会活動をしています。

同窓生の皆さん、その様な柚木君を暖かい目で応援して行き

ましよう。最後に柚木君、議員活動は激務と思います、健康には気をつけて、国民には優しく、国会では凶太さを持って頑張ってください。

## 活性化して、素晴らしい世の中を！

川相誠司 (高三三回)

柚木衆議院議員は、政治家としては若い方ですよね。今の政治をみていると年寄りが多すぎて、年寄りが世の中を悪くしているように感じます。

やはり世の中を変えていく、よい方向に動かしていくには、若い人の柔軟な発想力とエネルギー、ギッシューな行動力が必要だと思います。

若い人、子供たちが夢をたくさんもてる日本を、リーダーをもっともっと沢山つくり、素晴らしい世づくりをしてほしいですね。

柚木議員にお願いしたいのは、我が国は唯一の被爆国、核を廃棄するための研究施設とか憲法記念館をつくったりとか、世界平和へのメッセージを発してほしいということです。

また国民一人一人がきちんと自立して、民主主義として機能するような「人づくり」がいると思うのです。私は、中小企業



の経営者ですが、これからの経営者は「仏教」をしっかりと学んで、職場の中で、日々の生活の中で実践していけば、素晴らしい世の中になると信じています。

### 今こそ、学園の教えを

花咲 宏基（高三十七回）

先日、金光学園同窓会に参加させていただきました。中学一年生の時に初めて授業を受けた教室やラグビー部員として走り回ったグラウンドに足を踏み入れると、自分の原点を思い出ししました。純粋な自分に帰ることができました。

「人を大切に、自分を大切に、ものを大切に」「日々がさら」「一分の二」などの教えは、私の心に刻まれ、私の人生の羅針盤の



役目を果たしています。

同じDNAを持った柚木道義代議士が、国会で活躍されています。倫理道徳が壊れ、日本が大切にしてきた価値観が失われている今こそ、金光学園で学んだ柚木代議士や私が、国会でその教えを体現する活動が必要だと考えます。

民主党若手ホープとして活躍が益々期待されるようになった柚木代議士には、引き続き、国政で活躍いただきたく思います。私も、頑張ります！

### 現役生が国会見学へ

本年も金光学園から現役生の皆さんが国会見学に参加されました。いくつか抜粋して感想を掲載いたします。

▽柚木さんは想像していたよりも優しくて、親しみやすかった。また、私たちのどんな質問にも答えてくれた。今まであまり関心のなかったことにも興味をもてるようになり、社会の授業が楽しくなった。

また、秘書の中に大学生の方がいた。インターンとして秘書の仕事の研修をしているそうだ。私が大学生になって東京にきたら、やってみたいと思います。

(中3・清水 萌)

### 俳句随想

### 農に生きる

花房終林（高七回）

この里に生き生かされて初山河

母校金光学園の教師として、四十年お世話になり、いよいよ退職の新春、私は現在の農の再生にひそかに期するものがあった。あの豊饒の美田の多くが休耕田となり、地域の連帯感や教育力の衰退に歯止めをかけた。

### 父逝きぬ農の生涯稲の花

終戦まで中国大陸で兵役にあった父は篤実な農業者であった。その父も八年前に他界し、農の心と技術を十分に継承できなかった。僅か五反の小農ではあるが、父の遺志を継ぎ、郷土の大地を守り、農の心を大切に生きたい。

麦一寸のびて大地の冬の意志  
私は毎年大麦を作る。一寸あまりに伸びた麦の

▽私は柚木さんに政治家をしないで壁にぶつかったりするとはありますか、という質問をした。すると柚木さんは毎日が壁だらけですと答えてくれた。

(中3・岡田 悠)

▽僕の思っていることを国会議員に伝えることができてよかったです。後期高齢者医療制度についても聞いて、そのことをおばあさんに伝えておきました。おばあさんは少し納得したよう

名を知らない里の子供たちも多い。スポーツに熱中する孫。往復二時間を通学する孫たちにとって夏の冷たい麦茶は好評である。  
妻は公民館で生活交流グループの仲間たちと、自前の青豆で味深い完全無農薬の味噌を作る。まさに地産地消の一品である。

### 出穂の方の止め葉に方の露

雨の少ない酷暑の夏もようやく去り、日照時間に恵まれた稲田に、早稲の稲穂が風にそよぐ。早朝の陽光を受けて、止め葉の先端に方の白露が輝き、薄紅の蜻蛉が遊ぶ。

生の根源である日本米食文化の衰退。食の安全安心を保証する地産地消の大原則の崩壊。限界集落という耳慣れない言葉。さらに先進国で最低のカロリーベース三九〇という日本農業の実態。戦後切り捨てられて来たわが国農政の貧困を、今こそ再構築する政治の実現を心から願ってやまない。

でした。(中3・岩谷 忠彦)

▽今まで、政治に対してはほんやりとしたイメージしかなかったのが、具体的にイメージがわいてきたのも柚木先生のおかげだと思えます。倉敷に行った時、ポスターでしか見たことがなく

政治は別世界といった認識でしたが、柚木先生のような庶民的で若いエネルギーな方とお会いしてじかに政治が自分たちの生活に関わっていて、この一

票を投じていくことが自分たちのことや、日本の未来に対する責任なのかなとも思いました。(高1・津田 穂)

▽その他にも感想を寄せてくれた皆さん(敬称略)

- 岡本 藍、小野 孝之、
- 小山 直毅、松本 真実、
- 滝沢 忠士(以上中3)
- 高田 駿、西 悠磨、
- 吉見翔太郎(以上高1)



# みちよし 活動報告書 走る

## 一い挨拶

衆議院議員 柚木 道義

(高43回)

金光学園後援会の皆様、平素よりのご支援ご指導に感謝申し上げます。

早いもので国会へ送り出して頂いて3年、候補者時代からは6年が過ぎました。この間、年金制度への信頼失墜、崩壊の危機にある医療介護制度、所得や地域格差の拡大、治安の悪化、物価高と所得減少の同時進行、そして地球温暖化など課題は山積しています。その責任の大部分は政治にあります。しかし黙っては何も変わりません。

だからこそ私はジバン・カバン・カンバンのない中で、ゆずれない挑戦をスタートしました。3年間で36回の国会質疑に立つ中で、医療介護問題、子育て支援、産業労働政策など野党であっても地道に取組むことで、少しずつでも政治を動かせることを経験しました。

皆様、少し前に放映された木村拓哉さん主演の「チェンソージュ」で税金の使い道をチェンソージュすることが必要です。今後とも日本の政治を良くしていくために皆様の力をお貸し下さい。

### 昨年5月以降の国会での質疑の記録です (3年間で36回になりました)



| 月日          | 委員会  | 質問のポイント                      |
|-------------|------|------------------------------|
| <b>2007</b> |      |                              |
| 05/25       | 厚生労働 | 年金の給付に結びつかない「消えた年金記録」        |
| 05/30       | 経済産業 | コンビナート、クリーンエネルギー自動車、ポスト京都議定書 |
| 05/31       | 本会議  | 厚生労働委員長櫻田義孝君解任決議案            |
| 06/06       | 経済産業 | 空港整備、国際貨物流通の効率化              |
| 06/08       | 厚生労働 | 年金の給付に結びつかない「消えた年金記録」        |
| 11/02       | 厚生労働 | 介護報酬の適切化による職員の待遇改善           |
| 12/07       | 厚生労働 | 薬害肝炎訴訟原告の全員救済、国の責任の明記        |
| <b>2008</b> |      |                              |
| 04/18       | 厚生労働 | 「介護崩壊」の防止、後期高齢者医療制度の問題点      |
| 05/28       | 厚生労働 | 学童保育、保育園、妊婦健診、児童扶養手当         |



## 募集

「柚木みちよし・金光学園同窓生による後援会」では会員を募集中です。お知り合いの同窓生の方にお薦め下さい。

MICHIYOSHI's Photo Album



高齢者医療制度「廃止」  
党共同宣伝行動



第54回 進

救医療生活



発言者

MICHIYOSHI's Photo Album